

考え方!

「一般廃棄物最終処分場」

遠軽地区広域組合では「一般廃棄物最終処分場」の候補地検討委員会を設置し、候補地の選定作業を行っています。

遠軽町・湧別町・佐呂間町の3町が共同で利用する最終処分場は、住民皆様のご協力なくしては実現できません。新たな最終処分場を整備する候補地の選定にご理解をお願いします。

1 検討委員会委員について

最終処分場の候補地は3町から6か所が提示されており、9月6日に開催された第2回委員会では、今後詳しく比較検討するための第一段階として、地形や周辺状況、道路、放流河川等について事前に調査を行った結果を受けて候補地を数か所に絞り込む選定作業を実施しました。

検討委員会の委員には学識経験者2人と3町の住民、役場廃棄物処理担当課長各1人が委嘱されています。

このうち、学識経験者には北海道大学の石井一英教授と北見工業大学の駒井克昭准教授が、遠軽町からは住民代表として久保英之さん、役場住民生活課の高橋静江課長が委嘱されています。

なお、委員の互選により、石井教授が委員長に選出されました。石井

教授は、廃棄物管理工学が専門で、北海道や札幌市などの各種審議委員を務められています。

2 最終処分場候補地を絞り込む

検討委員会では、最終処分場の構造についても検討を行うこととしており、これに向けて、増毛町にある留萌南部衛生組合と岩見沢市の施設見学を行いました。

留萌南部衛生組合の施設は、平成26年に供用開始した屋根付きのクローズド型最終処分場で、近年急速に普及している構造です。

また、岩見沢市の施設は、平成27

年もしくは28年に供用開始した屋根の無いオープン型最終処分場で、ごみの中間処理施設に併設されています。

近年整備された新しい最終処分場施設に併設されています。

次回の検討委員会では、絞り込んだ3か所の候補地の現地確認と、最終処分場の構造等について検討を行う予定です。

3 次のステップに向けて

委員会では候補地を絞り込むための選定基準となる評価項目を10項目設定し、各候補地について現地調査結果と評価項目の照合を行って適性を評価した結果、候補地を遠軽町・湧別町・佐呂間町の町有地3か所に絞り込みました。



▲留萌南部衛生組合のクローズド型最終処分場



▲岩見沢市のオープン型最終処分場

■次回検討委員会	
日時	11月23日(土)午後2時～
会場	えんがるクリーンセンター 2階研修室

検討委員会は公開で行つておりますので、傍聴を希望される方は事前にご連絡ください。

問 遠軽地区広域組合衛生施設課
42-8325
住民生活課
42-4812